

【岐阜県中津川市】 校務DX計画

中津川市は校務支援システムを県内の自治体とともに共同調達を行い、県内統一の校務支援システムの導入を行いました。

1人1台端末導入後は、授業支援ソフトウェアや学習eポータル等を活用し、児童生徒への各種連絡のデジタル化を進めてきました。

教員間においては、グループウェアやクラウドサービスを活用し、伝達事項、各種資料及び教材をオンラインで共有しています。さらに、職員研修をオンラインで実施しています。

このように、各種デジタル化・オンライン化を進めてきましたが、学校現場においては、依然として紙ベースの資料が多くみられるのも事実です。そのため、業務の円滑化・効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要があります。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、具体的な取組みを次のとおり定めます。

1. 校務DX基盤の構築

(1)セキュリティの強化とネットワークの最適化

GIGAスクール構想の実現により、学校におけるICT環境は大きく変化し、校務のICT利用が加速しています。しかし、それに伴い、サイバー攻撃のリスクも高まっており、情報セキュリティ対策の強化がより重要となります。特に、教職員の働き方改革が進み、場所を選ばない働き方が求められる中、従来のネットワーク境界に依存したセキュリティモデルでは対応が困難です。そこで、ゼロトラストセキュリティの考えに基づくセキュリティ対策の導入を進めます。

また、学校に複数ある校務で使用するネットワークと、授業で使用するネットワークシステムの統合や、老朽化する市のイントラネット設備に代わりクラウドやゼロトラストセキュリティの技術を利用した再構築など、ネットワークやシステムの最適化を計画し進めます。

既にGIGAスクール用基幹管理システムを始めとしてクラウド化が進んでおりますが、後述する校務支援システム等も含めてクラウド化を検討していきます。

ゼロトラストやネットワークの統合、クラウド化などにより次のような効果が期待できます。

- 情報漏洩の防止: 児童生徒の個人情報や機密情報の漏洩を防ぎ、学校全体の信頼性を向上させます。

- 不正アクセス防止: 外部からの不正アクセスや内部からの不正利用を防ぎ、システムの安定稼働を確保します。
- 場所を選ばない働き方の実現: 教職員が場所を選ばず安全に校務を行える環境を提供し、働き方改革を推進します。
- 運用の効率化: ネットワークの統合をゼロトラストによるセキュリティ対策を行ったうえで実施することで、安全性を確保しつつ、運用コストの削減を行います。
- 持続可能性の強化: セキュリティの強化やクラウド化は自然災害、火災、サイバー攻撃などの事態が発生した場合においてデータの保全性を高め、損害を最小にとどめることで、授業や業務の継続や早期復旧を行うために重要です。

こういった取り組みは既に段階的に進めておりますが、よりよい環境構築のために調査研究を経て更に実施していきます。

(2)校務支援システムのクラウド化

現在、成績管理・保健・学籍情報などを有している校務支援システムはオンプレミス型であり、そのシステムは岐阜県内の他の自治体との共同運用がなされています。

今後、教育の情報化を進め、教育の質の向上と教職員の働き方改革や災害時の継続性を高めるためにクラウド化の必要性が高まっています。

校務支援システムの更新時期(令和8年度)を目指し、クラウド化やセキュリティ強化等の検討を他の自治体とともに進めます。

同時に学習系システムや行政系システムなどとのデータ標準化やデータ連携など模索していきます。

(3)教育ダッシュボードの創出

教育ダッシュボードとは、学校が保有する様々な教育データを一元化し、視覚的に分かりやすく表示することで、教育活動の現状を把握し、分析するためのツールです。教育ダッシュボードによりデータ分析を通じてより効果的な教育プログラムの策定や、個別指導の最適化を行うことができ、教育の質の向上や業務の効率化が期待できます。教育ダッシュボードは校務支援システム等主要なシステムとの関わりが大きく、また学校全体の教育改革につながる重要な取り組みです。その為、国や県、他のシステム等の動向を踏まえつつ、調査研究を行っていきます。

2. FAX及び押印の見直し

市から学校に提出を求める文書、学校から保護者に提出を求める文書、県教委から学校に提出を求める文書等のうち、特に必要のあるものを除き、押印を廃止しています。

また、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、個人情報が含まれない簡易な報告の場合など一部を除き、FAXを使用することは避けています。また、各種行政機関及び学校とやりとりのある事業者に対して、市教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行います。

3. ペーパーレスの推進

中津川市では、各学校に配付する文書等をデジタル化し、校務サーバ等に保存することで、ペーパーレスでの情報の共有を行っています。また、各学校においても資料をデジタル化して閲覧できるようにするなど、会議資料のデジタル化が進んできています。

学校から保護者への連絡ツールとして市費にて「すぐーる」を導入し、定期連絡・緊急連絡等に活用しています。「すぐーる」は文書添付も可能であるため、学校からの文書を添付して各家庭に配付することもあります。

今後は、校長研修会をはじめとする各種研修においても、会議資料のペーパーレス化を進めていく予定です。

4. 校務におけるRPA・生成AI等の活用

校務での生成AI活用に向けて、文部科学省のガイドラインについて周知するとともに、安全な活用に向けて職員研修を実施する予定です。

5. その他

小学校は「NEW!GIFUウェブラーニング」、中学校は「eライブラリアドバンス」のデジタルドリルの活用を進めています。